

健康講座のご案内

「福井ライフ・アカデミー連携」

演題名：大腸がんで命を落とさないために知っておくべきこと

日時：令和7年3月8日(第2土曜日) 15:00～16:00

会場：県民健康センター 研修室

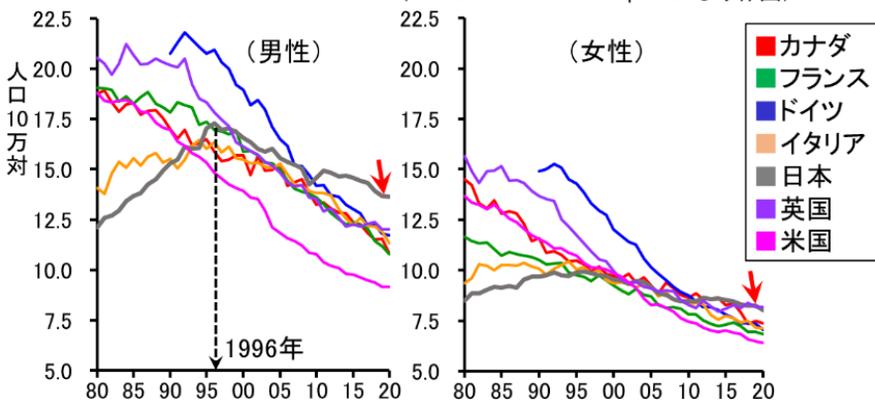
講師：がん検診事業部長 松田 一夫

事前の申込は不要です。

大腸がんは日本人がもっとも多く罹るがんで、肺がんに次いで多くの命が奪われます。実は、大腸がんは予防、早期発見・早期治療が可能ながんです。日本の大腸がん死亡率は先進諸国の中で最悪です。大腸がんで命を落とさないため、私たちが何をすべきかお話しします。

G7における年齢調整大腸癌死亡率の年次推移

(CANCER OVER TIME |IARC より作図)



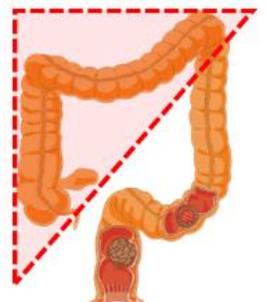
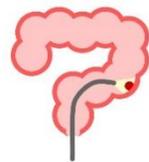
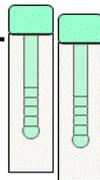
男女とも

アルコール度数
5%のビールを
毎日500ml飲むと
大腸がんの危険性が高まる



大腸がん検診

年齢：40歳以上
方法：免疫便潜血検査2日法
(ヒトの血液にのみ反応する)
間隔：1年に1回
精密検査は全大腸内視鏡検査で



大腸がん検診について知っておくべきこと

- ①便潜血検査の死亡率減少効果は確実
- ②便潜血が陽性となれば、必ず内視鏡による精密検査を受けること
※精密検査を受けなければ、大腸がん死亡の危険が約4倍になる
- ③便潜血が陰性となる大腸がんもある(特に右側の結腸がん)
→自覚症状があれば検査を受けること

お問い合わせ先：県民健康センター TEL: 0776-98-8000